

「錯視を経験しよう」

＝とびだすビルを造って高さを実感＝

★ どんな実験かな？

人間は、経験によって、一度見た物を脳に形作って、保管しておく能力があります。これが、学習ですね。用意した型紙を立体に作って、片眼で見ましょう。

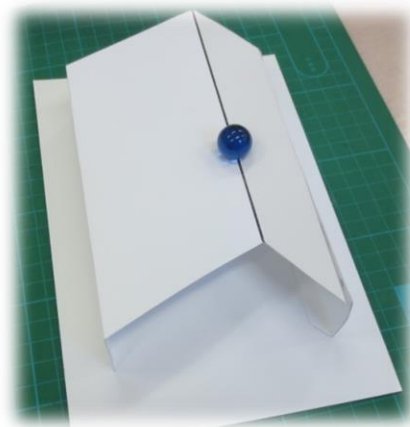
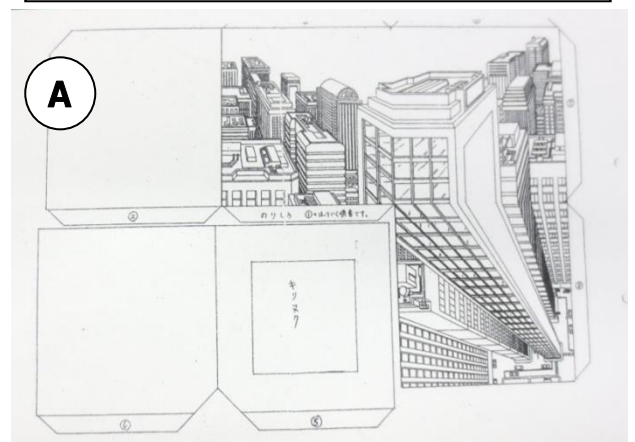
どうですか？不思議ですね。

へこんでいるはずの形が、飛び出してみえますね。また、飛び出しているはずの形が、へこんで見えますね。この見え方を錯視（さくし）といいます。

他にも、このような実験立体がたくさんあります。

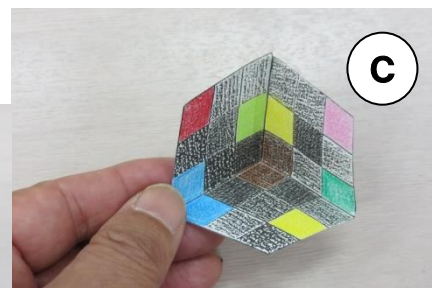
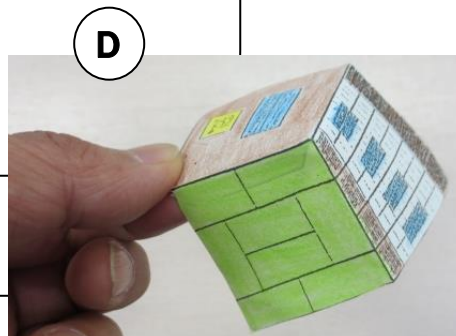
★ 用意するもの

- ① 「とびだすビル」用の型紙
- ② ルービックキューブ用の型紙
- ③ 部屋用の型紙
- ④ はさみ
- ⑤ のり、セロテープ



★ 実験の方法

- ① 型紙Aをはさみとのりを使って、組み立てます。
- ② ビルの場合は、三角ののぞき穴から、片目でのぞいてみましょう。立体に見えたかな？
- ③ Bは、屋根の上に、ビー玉がのっていますね。実は、屋根は、へこんでいるんですよ。
- ④ Cの型紙は、ルービックキューブです。Dは、部屋の模型です。
- ⑤ C、Dの型紙を組み立てて、片目で、見てみましょう。あれ、へこんでいつはずが、飛び出していないですか？飛び出しているはずが、ひこんでいませんか？
- ⑥ この現象を「錯視（さくし）」といいます。
- ⑦ 「トリックアート」という名前で、他にも紹介されていますよ。



★ 注意すること

- ① カッターナイフを使うときは、けがをしないように、使い方に注意しよう。